

市政を聞く 一般質問

3月定例会の一般質問は、9日、10日の両日行われ、14名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

一般質問発言通告一覧表

(平成16年第1回小浜市議会定例会)

通告者	発言の内容
池尾正彦	1.平成16年度小浜市の行政課題について 2.公立小浜病院高度医療施設整備促進について 3.福井県立若狭歴史民俗資料館の充実について 4.国家を支える国語の重要性について
石野保	1.教育行政について
山本益弘	1.小浜市「業種別懇話会」について 2.補修工事の見積りについて 3.学生の登、下校の安全対策について
上野精一	1.若狭路博後の活性化策について問う 2.農業問題について問う
風呂繁昭	1.財政について 2.中心市街地活性化 3.教育施設充実について 4.周年作について
垣本正直	1.地域公民館の役割と課題について 2.市営住宅の課題と宅地開発について 3.市民本意の市町村合併実現の姿勢について
藤田善平	1.米政策改革大綱を問う 2.風水害対策を問う 3.小浜インター周辺の都市計画を問う
清水正信	1.三位一体改革とまちづくりについて
深谷嘉勝	1.再出馬を表明された市長の決意を伺う
池田英之	1.市民参加のまちづくりについて 2.民間活力の導入方策について 3.地理情報システム(GIS)の導入について
三木尚	1.原子力政策について 2.平成16年度当初予算案について 3.総合運動公園の活用について
宮崎治宇蔵	1.地方財政への「三位一体改革」の影響について 2.使用済核燃料中間貯蔵施設問題について 3.小浜市の雇用創出プランについて 4.地方公共団体の無料職業紹介事業について
下中雅之	1.子供の安全対策について 2.子育て支援について
井上万治郎	1.雇用問題と企業誘致について問う 2.特養老人ホームについて問う 3.河川(南川・北川・他)改修について 4.「特区」について



池尾正彦 議員

問① 平成十五年十二月議会で質問した、公立小浜病院に設置する三次救急並みの救命救急センター(治療室および救急病床、合計四十三床)を新たに国が創設した十床規模の新型救命救急センター事業に計画変更するよう福井県当局が要請してきているが、これに対して、再考を求める行動はとったのか。また、収支赤字分の県全額負担

について、区長会と相談し、できるだけ早く実施したい。

答

区長会と相談し、できるだけ早く実施したい。

問② 特定失踪者問題の真相究明を求める署名活動は。

答

十五床減の二十八床と要請あり。赤字分負担では、当初の要望の確保に努める。

担についての要請状況はどうか。

答

国宝所持の寺院が点在する。街道の名称を「若狭国宝街道」と改称は可能か。



石野保 議員

問①

賛成、反対を問うつもりはないが、教育長は地方公務員の一般職の身分でありながら、去る十二月定例会において請願を受け企

答

共存、共栄でき、そのことが食と矛盾するとは考えていない。

問②

食のまちづくりを推進する本市の原子力発電、中間貯蔵施設に対する考えを問う。

答

政治的行為としてしっかりとした認識をもっていかない。振り返り慎重に行動し反省しなくてはならない。

ざる。資質を問う。



山本 益弘 議員

問①

教育文化懇話会が市長に中間貯蔵施設誘致に関する要望書を出したが教育長はそのメンバーとしてどう考えるか。教育環境に不適切という事だが、本当にそう思うのか、また、立地市町に対する責任をどう考えるか。

答

第一義的には要望書を出すところではない。個人として同意した。不適切という言葉に違和感はない。責任については答えられない。

問②

今富小新体育館修繕工事見積もり額は二、四〇〇万円強であったが補正で一、一六〇万円となっている。安全面に問題はないか。また、落下物に対する安全対策は万全であったか。

答

部分補修で大丈夫でありこの金額となった。長い間市道を通り止めた事は反省している。予算面で十分な安全対策をとれなかった(市長から今後は迅速に対応する答弁あり)

問③

登下校の際の連れ去り問題とその対策をどう考えているか。

答

声をかけられたり後をつけられる事案が増加している。「一〇番の家」の実態調査、ウォーキング者の協力等を求め地域で安全確保をしていく。



上野 精一 議員

問①

若狭路博後の活性化策について。

答

幅広い意見や知恵をお借りするため「いかそう若狭路博プロジェクトチーム」を設置し、盛況であった若狭路博の成果を生かして、市の発展のため、交流人口の拡大に努めていく。十六年度では大型観光バスによる誘客、国民文化祭のプレイベントの実施、若狭路博フォーロニアップ事業等の取り組みがある。

問②

小浜市水田農業ビジョンについて。

答

地域営農体制の強化のため認定農業者等の中核農家と集落営農を中心

とした組織、兼業農家等の小規模農家の役割分担を進めながら取り組む。

問③

野菜づくりについて。

答

少量他品目による生産を目指している。また、地場産野菜の流通体制を整えるためシール等の利用も検討する。消費者へは地場産野菜の普及啓発を図る。



風呂 繁昭 議員

問①

三位一体の改革の財政について。

答

国庫補助負担金八、三〇〇万円削減、地方交付税と臨時財政対策債四億三、九〇〇万円削減、税源の一部移譲、所得譲与税五、五〇〇万円増、合計四億六、七〇〇万円減の中、市民サービスの影響なきよう事務コスト削減、定員適正化、基金の取り崩しで財源を確保していく。税の公平適正化において市税等特別徴収対策制度を創設し、市長自ら出向する。

問②

中心市街地活性化について。

答

ワーキング会議専門部会で進行。縦貫線用地買収、物件移転交渉、第七次海岸環境整備事業測量調査設計へ。

問③

小浜小教育施設充実について。

答

規模面積の算定や取得方法を検討し、建設基本コンセプトを生かしたプロポーザル方式で年内に契約予定。

問④

生産調整にかかる交付金周年作について。

答

麦基本額生産向上額二万二千元、市単独一万六千元、体制づくり一万二千元、合計五万円プラス周年作物には五千元助成。今後担い手育成、認定農業者や組織を育成することが急務。



垣本 正直 議員

問①

地域、公民館の役割と課題について。

答

地域の実情にあった独自の生涯学習活動を展開している。職員の資質の向上と、地域の指導者育成

に努め、青年層活動に対して支援する態勢の整備と育成に取り組み。新世紀いきいきまち・むらづくり活動支援を三カ年継続し地区の振興をはかる。

問②

市営住宅の課題と住宅開発について。

答

高齢者や住宅に困っている方に入居して頂いている。耐用年数超過住宅は、建て替えや修繕を計画的に実施する。また、用途地内の土地区画整備に取り組んでいる。今後は、定住人口拡大のため住宅資金支援等の制度導入を検討する。

問③

市民本意の市町村合併実現の姿勢について。

答

名田庄村とは今後も話し合う。上中町は三方町と協議中だが上中町の住民発議については、今後議会と相談し対処したい。今後市民へ十分説明をする。



藤田 善平 議員

問①

米政策改革大綱を問う。